

教育普及の実践：高等学校の取り組みを通して

伊 波 悅 子

(沖縄県立博物館)

The Practices of the Educational Activity for the
Students of Senior High School

Etsuko IHA

(Okinawa Prefectural Museum)

はじめに

沖縄県立博物館は1945年東恩納博物館が設立されてから54年たった。平成8年には50年のあゆみが編纂されている。その中に教育普及の歩みを詳しく見る事ができる。1期は戦災を免れた文化遺産収集時代（1946年～1965年）、2期は講堂活用時代（1966年～1973年）、3期は講堂活用から積極的な事業拡大への転換の時代（1974年～1987年）、4期は教育普及活動の多面的な展開の時代（1988年～）である。二千年を目の前に博物館の教育普及活動事業が大きく変化していることに気が付く。その状況の変化は2002年に新学習指導要領が実施される事に起因している。すなわち小学校低学年における生活科学習、中高学年における総合学習、中学校・高等学校での総合学習の導入である。今までにその過渡期であり、学校の先生方は指導案の研究に余念がない。その手がかりの一つに博物館活用が挙げられる。そうすると5期は開かれた博物館の学校とのタイアップ時代（1998～）と言えるかも知れない。

1 学校訪問

平成10年度は総合学習を見込んで博物館を利用してもらうために小学校・中学校・高等学校を訪問した。館長をはじめとして教育普及課長、小中学校担当の学芸員、高校・大学担当の学芸員の四人で訪ねた。

- 6月2日 伊良波小学校・伊良波中学校・座安小学校
- 6月5日 豊見城小学校・豊見城中学校・上田小学校
- 6月16日 東風平小学校・東風平中学校・白川小学校
- 6月17日 新城小学校・具志頭小学校・具志頭中学校
- 6月18日 船越小学校・玉城小学校・玉城中学校
- 7月1日 宮城小学校・仲西小学校・仲西中学校

7月3日	神森小学校・神森中学校・内間小学校
7月14日	真嘉比小学校・興南中学校・興南高校・安岡中学校
7月15日	前島小学校・那覇中学校・上山中学校
9月30日	真和志高校・沖縄工業高校・首里高校
10月1日	普天間高校・中部商業高校・西原高校
10月15日	首里東高校
10月22日	浦添工業高校・浦添高校
10月27日	那覇工業高校・那覇国際高校・那覇高校
10月28日	南風原高校・豊見城高校・小禄高校

以上小学校16校、中学校11校、高校16校を訪問した。記録から分かる様に6、7月の暑い日中であったが、学校側は校長・教頭先生や学年担当、事務長が対応してくれた。

2 児童生徒の博物館利用状況

平成10年度の児童生徒の団体見学は県内小学校が150校あった。これは全県282校の内53%を占めることになる。学習内容は小学校3年生の民俗の学習と体験教室、5年生の沖縄の工芸の学習、6年生の琉球の歴史の学習である。加えて離島・遠隔地の修学旅行が主である。中学校は19校あるが2校のぞいては県外である。博物館までの学習は時間的にゆとりがないのであろうか。高等学校も77校あるが県内は8校に止まっている(12%)。

3 学校訪問後の変化

高等学校で博物館を毎年利用しているのは南部農林高校で、沖縄の文化を学ぶのは勿論であるが、それ以上に見る態度・いつでも誰にでも挨拶が出来るマナーを身につけるためもある。そして陽明高等学校は歴史の授業で利用する。ここで学校訪問後に変化のあった事例を上げてみよう。

① 中部商業高等学校の事例

学校訪問を終えて一番に連絡が入ったのは中部商業高校であった。国際流通科の2年生35人がオーストラリアへ研修に行く、その事前学習として「大交易時代の琉球」を学びたいという内容である。早速歴史担当の萩尾学芸員と日程を調整し返事をする。当日12月16日学校の講堂でスライドを使って2時間の講演をした。

② 首里高等学校の事例

10年度の特別展は11月17日～12月20日の「包むこころ ふろしき展」であった。その展示の一部紅型のウチュクイーの製作工程見本を染織デザイン科の生徒に協力して

作ってもらった。展示室のアプローチに長い伸子張をした90センチ四方の風呂敷の製作見本は人目を引いた。そして会期中染織デザイン科の生徒120名の見学があった。

③ 首里東高等学校の事例

11年1月16日17日はセンター試験が行われ首里東高校は会場校となった。すると1、2年生は校外授業になりその場所に博物館があげられた。720名の来館で、一度での収容は無理なので30分ずらして入館してもらう。一般の来館者もあるので大へんな混みようあった。充分に博物館見学が出来たかどうかは疑問であるが、博物館へ行ったことがあるのと無いのとでは本人の自覚に「差」が生じる。

④ 浦添高等学校の事例

夏休みを控え理科担当の教諭より調べ学習をしたいとの連絡があった。大歓迎であるが入館形態が問題である。まず団体で入館料免除申請の手続きをすれば無料で学習できる。20人まとまれば団体割引、バラバラに入館すると100円要る。また8月3日より特別展「三線のひろがりと可能性」展になるので特別料金の200円にはねあがってしまう。結局自由に学習する事になった。生徒は三々五々連れ立って学習した。

4 県外高校生の受け入れの実践

これまでの修学旅行は観光が主で博物館もその一部分でドッと入館して40~50分程度で見学してサッと帰ってしまうというのが定番であったが最近4, 5年は変化してきた。

- ①沖縄をテーマに学習する ②7~8名のグループ学習でそれぞれテーマを持って来る
- ③調べ学習聞き取り調査をする ④1~2時間の講演をお願いする

それぞれの希望に叶うよう教育普及課は鋭意努力している。

事例 千葉県立国府台高等学校の例

(I) 事前調査

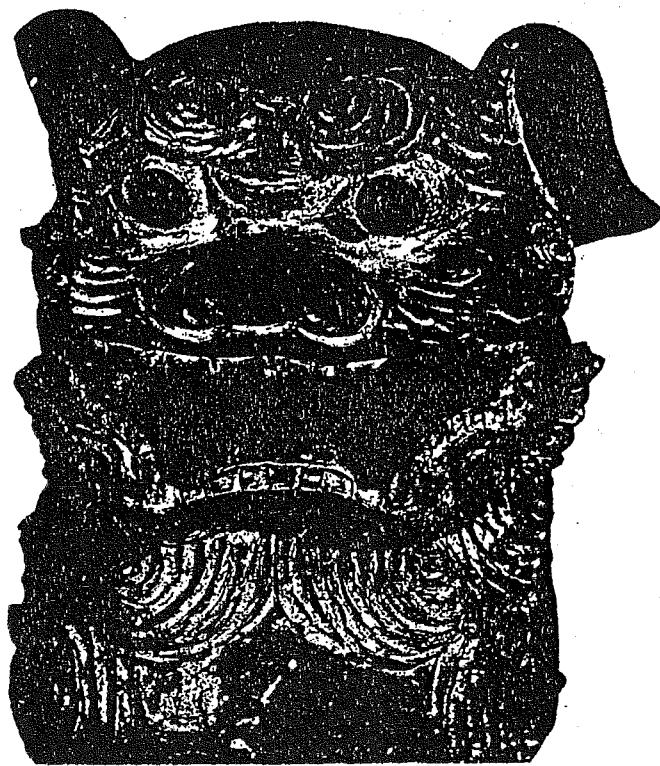
1999年3月、2学年沖縄郊外学習旅行の担当教諭が博物館を訪れた。萩倉先生と川勝先生である。生徒は事前学習に取り組んでいることで11年10月に受け入れを承諾した。

そして生徒の事前レポートが届いた(参照1, 2)。参照2を見ると パイナップル・サトウキビ・泡盛・沖縄の料理・沖縄特有の料理・沖縄の食文化・長寿食を訪ねて・そば・製糖についてと食に関する物が多い。食べて学習出来ると言う安易さがあるのではと一見思えた。勿論伝統工芸や基地問題・動植物・城・祭・言葉に関する事もある。レポートの中にはテーマ設定の理由や調査地・モデルコース・図書館などで調べた図書名や現地での聞き取り調査の項目など細かく記入されている(参照3)。

そして6月24付けの、次のような(参照4)日時調整の連絡があった。

参照 1

1999年3月作成



校外學習
事前レポート集

千葉県立国府台高等学校

参照2

目次

- 1 沖縄の海
- 2 沖縄の食文化～泡盛～
- 3 沖縄の食文化
- 4 沖縄の海
- 5 沖縄の自然
- 6 沖縄の製糖について
- 7 沖縄の伝統工芸
- 8 シーサー
- 9 珊瑚について考える
- 10 沖縄の言葉
- 11 沖縄料理と食文化
- 12 沖縄のパイナップルについて
- 13 パイナップルの栽培について
- 14 沖縄の長寿と料理の関係を探る
- 15 沖縄の戦争と平和
- 16 サンゴ礁について
- 17 豚
- 18 沖縄の長寿食をたずねて
- 19 サンゴについて
- 20 沖縄の料理
- 21 琉球ガラス
- 22 城
- 23 さとうきび
- 24 パイナップル産業の現場
- 25 沖縄料理
- 26 沖縄の伝統音楽
- 27 戦後の沖縄の復興について
- 28 祭り（ハーリー祭）
- 29 沖縄の植物について
- 30 泡盛
- 31 サンゴ
- 32 沖縄の家の造り
- 33 伝統工芸品
- 34 沖縄の自然について
- 35 沖縄と米軍基地
- 36 沖縄の食べ物について
- 37 海
- 38 琉球ガラス
- 39 沖縄の郷土料理と日常食～そば～
- 40 シーサーの歴史
- 41 サトウキビとパイナップル
- 42 沖縄の料理
- 43 沖縄特有の食材
- 44 琉球ガラス
- 45 沖縄の動植物
- 46 建築物の歴史について
- 47 沖縄の長寿について
- 48 沖縄の自然（サンゴ）

参照3

校外学習事前レポート集 提出用紙 1年 6組 4班

班長／石部 書記／竹本、渡部
班員／石部、牧野、平澤、小形

藤間、竹本、渡部

テーマ／沖縄の自然について

1.はじめに
(テーマの選定理由やまとめの見通し)

沖縄には本州にない自然がたくさんありますから沖縄の自然とふれ合いたい。やっぱり自然は大きいしその分感動も大きいと思うから。

2.現地調査の訪問先の候補(3ヶ所以上)

①名称／ネオパークオキナワ
住所／名護市名護 4607-41
備考／TEL(0980)52-6348

②名称／沖縄フルーツランド
住所／名護市糸文 1220-71
備考／TEL(0980)52-1588

③名称／玉泉洞王園村
住所／玉城村前川 1336
備考／TEL(098)949-7421

3.現地調査のモデルコース
(宿舎からの交通手段・時間・費用など)

那覇バスター・ミナル → ひめゆりパーク
9:00 10:45

→ 玉泉洞文化村(昼食含む) → 知念海洋センター
11:30 13:45

→ 首里城跡公園 → ホテル
15:30 17:00

（事前レポートや現地調査で役に立つ本や資料(4つ以上)）			
書名・出版社名	著者名	入手先	
オキナワ体験ガイド ユーラン	地原寅雄 他		○
沖縄のしまガイドブック 岩波ビニア美術館	照屋林賀 他	図書館	○
ニューブルーガイドブックス沖縄 実業之日本社	原田興一郎	本屋	○
JTBの旅レポート 沖縄、奄美	岩田光正 他	本屋	○
JTB印刷			

4.事前レポートの内容

◆本・資料で調べてわかったこと

沖縄の陸上生物は、陸地面積が狭いので、特定地域のみ生息の「種」(固有種)が多いことが特徴である。また、亞熱帯性気候に属するので、植物の種類が豊富で、中でも八重山諸島や西表島などの「ヤング」では、日本最後の秘境ともいわれている。このようなことから琉球列島は、「東洋のガラパゴス」と呼ばれるようになつた。

◆現地で聞き取り調査をすること
(訪問先での質問の内容など)

- ・昔と今はどううちかうか。
- ・本州と沖縄のちがいをたくさん見つける。
- ・めずらしい物は現地の人へ聞いてみる。
- ・米軍基地がたくさんあるけれど、自然に影響はないか。
- ・サンゴを観察したい。
そしていろいろ聞く。

(事前レポートに使った本や資料には○をつける)

参照4

1999年6月24日

沖縄県立博物館

前田 真之 様
仲底 善章 様
伊波 悅子 様

拝啓

3月に本校校外学習の下見でお訪ねした際には、貴重なお話を聞かせていただき、大変ありがとうございました。

既にお願いしましたように、10月28日(木)・29日(金)に生徒達が聞き取り調査を行う予定であります。生徒達は聞き取り調査のテーマと訪問希望先を決定したところですが、現在までのところ、6つの班が貴館の訪問を希望しております。

つきましては、生徒達の訪問を受け入れてくださるよう、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、訪問日時と質問内容の詳細については、2学期になって相談させていただければと考えております。お忙しいところ恐縮ですが、よろしくお願ひ致します。不明な点がありましたら、ご連絡ください。

希望日	クラス班	テーマ	伺いたいこと
10月28日(木)午後	3組1班	伝統工芸と織物	首里織り ミンサー
10月28日(木)午後	3組2班	沖縄の音楽	沖縄の音楽の歴史、特色、現状
10月28日(木)午後	3組6班	石敢当	石敢当
10月28日(木)午後	5組4班	沖縄特有の動物 (陸上動物)	どんな動物がいるか、それぞれの動物の特徴、生息地域、その他(陸上動物に関するこ)
10月29日(金)午後	1組2班	歴史的建造物	沖縄の民家の特徴 シーサーについて
10月29日(金)午後	4組2班	紅型	紅型のルーツ、紅型という技法・制作方法、他の染め物との違い

千葉県立国府台高等学校

2学年主任 萩名 良

TEL 047-373-2141

FAX 047-373-7902

(II) 事前調整

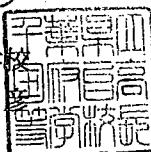
実施日は10月28日、29日と組まれている。同時に学校長の修学旅行（生徒の聞き取り調査）の依頼文と生徒からの手紙が届いた（参照5、6）。早速7月1日の学芸員会議で受け入れて良いか審議し、そしてその分野の担当学芸員にお願いをして協力を得る。7月5日の学芸員会議で再び担当学芸員の承認を決定し、各担当より承諾の葉書を出してもらう（下図参照）。そのテーマの中に「沖縄の音楽」があり調査項目に沖縄の音楽の歴史、特色、現状があった。当館には、音楽分野の学芸員がいないので沖縄県立芸大を紹介した。

<p>郵便はがき</p> <p>50</p>  <p>日本郵便 NIPPON</p> <p>行</p> <p>□□□□□□</p>	<p>2720827</p> <p>千葉県市川市国府台2の4 千葉県立国府台高等学校 2年5組</p>	<p>A) 訪問可 第1希望</p> <p>___月 ___日 ___時</p> <p>第2希望</p> <p>___月 ___日 ___時</p> <p>B) 訪問不可</p> <p>C) 御要望があればお書き下さい</p> <p>御住所 御名前 TEL: FAX:</p>
--	---	--

沖縄県立博物館 様

1999年6月23日

千葉県立国府台高等学校
校長 山崎 哲



修学旅行（生徒の聞き取り調査）についてのお願い

本校では、修学旅行を下記の要項のとおり、校外における学習活動（調査研究）として実施しております。千葉県も修学旅行に航空機を利用できるようになり、沖縄を検討した結果、本年10月27日（水）より30日（土）まで次の二点に重点を置き実施することとなりました。

A 10月27日および28日午前中の平和学習

南部戦跡（県立平和祈念資料館、ひめゆり平和祈念資料館など）の見学と読谷村での体験。

B 28日午後および29日の午前・午後班別調査研究活動

6～7人の班毎に研究テーマを設け、現地で聞き取り調査を実施し、報告書にまとめる。

つきましては、Bの調査研究活動の一環として、下記の日時に生徒が訪問させていただき、ご指導を賜りたいと希望しております。ご多用中、一方的なお願いであり誠に恐縮ですが、何卒趣旨をご理解いただき、ご高配のほどお願い申し上げます。

お手数ではございますが、今回のご返事は、7月13日頃までにいただければ幸甚に存じます。

記

希望日時：本年10月 28 日（木）、

3組 1班 7名・班長 柳下 夏穂

『第2学年校外学習』要項抜粋

- ◎ 地域に学ぶ「調査・研究」活動を通じて、社会を見る視点を養い、今後の学習に活かす。また、こうした活動を通して自主性・自律性を身につけ、実り豊かな高校生活を共に築いていく力とする。
- ◎ 6～7名の班に分かれ、班ごとの調査・研究を中心とする。
- ◎ 地域性を形づくるもの、その地域のかかえている問題・課題を選び、それが人々の暮らしとどうかかわっているのかを考える。調査した内容などはレポートにまとめる。

拝啓

沖縄では梅雨も明け、本格的な夏の到来となりましたと存じます。突然で失礼ではございますが、

お手紙をさせていただきます。

私達は千葉県市川市の県立国府台高校の2年生です。

本年10月27日(水)～10月30日(土)校外学習で沖縄を

訪れ沖縄の伝統工業と織物の聞き取り調査を行

いたいと考えております。この校外学習は別紙の通り

沖縄の歴史や文化を現地での聞き取り調査などにより
知りうる所を主なところとして、お忙しいところ恐縮ですが、首里城とミンサー
についてお話を伺えないでしょうか。

10月28日午後にお願いできたら、と思っております。どちらで
都合の良い日時があれば返信はせきでお知らせください。
詳細な日時につけば、10月中旬に手紙にて確認
させていただきます。

7月13日頃までに同封のハガキでお返事ください。
よろしくお願ひします。

敬具

国府台高校 2年3組 1班 代表

柳下 夏穂

(III) 二学期の調整

二学期に入り9月21日付けの微調整のFAXが届いた（参照8）。いよいよ近づいて来たなと緊張する。検討した結果を次の事を9月30日2学年主任の萩倉先生に電話をする。

- ①音楽グループは受け入れが出来ない
- ②研修室が無いので3グループ分テーブル・椅子を設置する
- ③質問の内容が少し変わってきている
- ④学芸員は午後の1時から対応出来る

①については手違いで訂正してなかったようだが、生徒とは連絡済みとのことであった。

(IV) 校長による正式依頼書

来館日のちょうど一週間前の10月21日千葉県立国府台高校の校長 山崎 哲彦氏より公文が届いた（参照8、9）。受け入れをもう一度チェックする。対応場所は講堂を使う計画であったが、第51回市町村新採用職員研修の講演が入ってしまった。10月25日の学芸員会議で対応場所をロビーに移す事を承認してもらう。ロビーは狭く来館者に邪魔になるが仕方ない。

(V) 直前学習レポート

校長の依頼書と共に生徒からの直前レポートがとどいた（参照10～11、他は割愛）。そこにはテーマ設定の理由、調査内容、質問事項、参考文献などが細かく記されていた。すぐ各学芸員に渡し調査日に備えてもらう。

私も早速目を通して必要な資料を準備する。

日本の伝統織物	富山弘基	徳間書店
歴史をひらく・琉球文化秘宝展		那覇市制70周年記念企画展実行委員会
読谷山花織基本単位集		読谷山花織事業共同組合
染織と生活	富山弘基	染織と生活社
沖縄の美	水尾比呂志	沖縄県立博物館
沖縄の染織		沖縄県教育委員会
久米島紬～あゆみとわざ～		仲里村教育委員会
染織の美	吉岡幸夫	京都書院

そしてそれらの中から説明用のレジメ、沖縄の織物の種類、沖縄の織物分布図を作る。それに合わせて織物実物見本も準備する（首里織の着尺、ロートン織の帯地、絣の反物、紅型訪問着など）。それでも質問に答えられないものもある。首里織りの技術を持っている人は何人いるか？というのは、どこで統計をとっているのだろう。

参照 7

1999年9月21日

沖縄県立博物館 前田真之様
伊波悦子様

千葉県立國府台高等学校
2学年主任 萩原 良
TEL 047-373-2141
FAX 047-373-7902

拝啓

10月に実施する予定の本校校外学習（修学旅行）での生徒の訪問を受け入れてくださり、大変ありがとうございます。

既にお願いしましたように、10月28日(木)・29日(金)に生徒達が聞き取り調査を行う予定であります。本年は、6つの班が貴館の訪問を希望しております。

現在、生徒達は、調査テーマについての事前調査や訪問の交通手段と時間等について検討しているところです。

さて、3月に私と川勝が貴館でお話しを伺った際、次のようなアドバイスをいただきました。

1. 質問事項を前以てお伝えする。
2. 2年前にお世話になったときは、一度に3グループまで説明をいただいたが、班の数が多い場合は、訪問時間をずらす。
3. 訪問予定時間にあまり遅れないように。また、依頼の際に訪問予定時間を○時～△時のように記す。

1と3については生徒の検討が整理できた段階で、正式の訪問依頼文書に併せてお知らせしたいと思っております。

2についてですが、10月28日の午後に訪問予定の班が4つあるのですが、どのようにしたらよろしいでしょうか。生徒達は、1時半以降には貴館に訪問可能ですが、数が多いので時間をずらした方がよろしいでしょうか。お伝えいただければ、生徒に伝えたいと思います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、お電話かFAXでお知らせいただけますでしょうか。よろしくお願ひ申し上げます。

希望日	クラス班	テーマ	伺いたいこと
10月28日(木)午後	3組1班	伝統工芸と織物	首里織り ミンサー
10月28日(木)午後	3組2班	沖縄の音楽	沖縄の音楽の歴史、特色、現状
10月28日(木)午後	3組6班	石敢当	石敢当
10月28日(木)午後	5組4班	沖縄特有の動物 (陸上動物)	どんな動物がいるか、それぞれの動物の特徴、生息地域、その他(陸上動物に関する事)
10月29日(金)午後	1組2班	歴史的建造物	沖縄の民家の特徴 シーサーについて
10月29日(金)午後	4組2班	紅型	紅型のルーツ、紅型という技法・制作方法、他の染め物との違い

参照 8

国府台 第 253号
1999年10月21日

沖縄県立博物館長 大城将保様

千葉県立国府台高等学校
校 長 山崎 哲



修学旅行受け入れのお願い（依頼）

過日、本校職員が貴館を訪問の際は、多忙な時期にもかかわらず、あたたかい心遣いと丁重なご案内をいただき、誠にありがとうございました。また、2年前の修学旅行では本校生徒職員が大変お世話になり、感謝申し上げます。

さて、本校では、20年来、修学旅行を聞き取り調査を主体とした「調査研究活動」と位置付け、「校外学習」として通常の授業では得られない学習を行ってまいりました。

2年前には、この「校外学習」を、沖縄県において実施し、その際貴館を訪問させていただきましたが、今年度も沖縄県において、右記の計画概要で実施する準備を進めております。

沖縄県における「校外学習」の目的として

- ①初日および2日目午前中の平和学習
- ②2日目午後および3日日の班別調査研究活動
の2点を重点項目として設定しております。

②に関し、5つの班の生徒達が貴館への訪問と聞き取り調査を希望しております。つきましては、2日目（10月28日）午後及び3日目（10月29日）午後、貴館での班別調査研究の実施をお願いし、生徒の貴重な学習体験と致したく、受け入れをご依頼申し上げる次第です。

担当の方（前田真之様、伊波悦子様）とは、下記の実施概要で調整をしております。

訪問日時	クラス班	テーマ	伺いたいこと
10月28日(木)午後1時半 (聞き取り調査2時~)	3組1班	伝統工芸と織物	首里織り ミンサー
	3組6班	石敢当	石敢当
	5組4班	沖縄特有の動物 (陸上動物)	どんな動物がいるか、それぞれの動物の特徴、生息地域、その他(陸上動物に関する事)
10月29日(金)午後1時半 (聞き取り調査2時~)	1組2班	歴史的建造物	沖縄の民家の特徴 シーサーについて
	4組2班	紅型	紅型のルーツ、紅型という技法・制作方法、他の染め物との違い

お忙しいところ誠に恐縮ですが、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

連絡先 272-0827 千葉県市川市国府台2-4-1 千葉県立国府台高等学校 電話 047(373)2141 FAX 047(373)7902 第2学年主任 萩倉 良

参照 9

1999年度修学旅行（校外学習）計画

1. 1999年度沖縄校外学習の視点

- ①沖縄の歴史を学び風土・気候・生活を体験する。
(異文化体験)
- ②沖縄戦の戦跡と軍事基地の現実を直視し、戦争と平和、本土との関係について考える。
(平和学習)
- ③異文化体験と平和学習の視点を踏まえて、歴史・自然・産業・技能・芸能等を調査研究する。
(調査研究活動)

2. 参加者 生徒320名 職員15名

3. 日程

10月27日(水) 羽田発 8:20 - 那覇着 10:30

午後-読谷村での全体講話とガマ体験と役場周辺見学

1. 全体講話

2. ガマ体験・役場周辺見学(2クラスないしは3クラスで行動)

- a. 2(3)クラス シムクガマーチビチリガマ及び役場周辺-座喜味城跡
- b. 2(3)クラス 座喜味城跡-シムクガマーチビチリガマ及び役場周辺
- c. 2(3)クラス チビチリガマ及び役場周辺-座喜味城跡-シムクガマ

10月28日(木)

午前-戦跡資料館等見学

a. 2クラス ひめゆり平和祈念資料館-白梅の塔

b. 2クラス 白梅の塔 -県立平和祈念資料館

c. 2クラス 県立平和祈念資料館 -旧海軍司令部壕跡

d. 2クラス 旧海軍司令部壕跡 -ひめゆり平和祈念資料館

午後-フィールドワーク（班別調査研究活動）

10月29日(金)

1日-フィールドワーク（班別調査研究活動）

10月30日(土)

クラス別見学（インブビーチ 東南植物楽園 玉泉洞）

那覇発14:10 - 羽田着16:30

4. 宿泊先

10月27日(水)・28日(木)-那覇

那覇セントラルホテル（3クラス）

ホテルサンパレス（2クラス）

ホリディ・イン・エクスプレス那覇（3クラス）

10月29日(金) -読谷村

残波岬ロイヤルホテル（全クラス）

参照10

1999 校外学習班別調査[直前学習レポート]

3組1班

テーマ（沖縄の伝統織物）

班長 柳下夏穂	岡井 裕介	皆川 哲也	松本英朗
井上 牧鬼	鶴野裕未	西塙 理恵	

1. 伝統織物をテーマに選んだ理由

きっかけは、沖縄の工芸品について書いてある本をめくっていた時に、カラーページの色あざやかな織物を見た時である。ただ美しいだけではなく、その織物の中に様々な歴史が刻まれているように思えたので、是非、これらの伝統織物について調べたいと思った。

2. 琉球の伝統織物には、どんなものがあるか。

沖縄の織物には、首里織、与那国織、芭蕉布、琉球絣、紅型、読谷山ミンサー、久高糸ぬなど、実に様々な種類がある。

首里織は、南方諸国や中国の影響を受けた、琉球王朝の古都として栄えた首里の織物で、絣、花織、道毛織、花倉織、ミンサーなど「独特の織物」が織られている。王朝風の洗練された「サイン」と「織り」で珍重されている。

3. 伝統織物の歴史的背景

明治5年(1872年)、日本の行政地域に包含されるまで、琉球は一小王国であった。資源の乏しい離島の集合である琉球国は、古くから中国や、日本、韓国や東南アジアの諸国と交易を行ってきた。

日本や韓国の物品を中国や東南アジアへはこび中継貿易を行うことによって、王国の経営を成り立たせていたが、14世紀中ごろ、中国に明王朝が成立してからは、明の招きによつて貿易貿易をするようになつて、琉球は王国に繁榮をもたらした。

優雅な絣の花倉織や花織、色鮮やかな紅型などは、王族の繁榮をもたらしたものである。絣の技術も、もがれた東南アジアとの交流の中で生まれたものと考えられる。

慶長4年(1609年)には、日本の薩摩藩の侵寇

によって、薩摩とも従属関係を結びこじつけられた。

中国との朝貢、冊封關係や直接的な統治主体としての王府はそのまま存続していたが、薩摩藩を介して、三江戸幕府にも従属することとなる。たゞだ。

租税として徴収された米や麦、粟の代わりに、官古やハリ山では布の上納を命じられ、一定の年齢になると女性たちは機械的に従事せられてきた。官古やハリ山の上布も派遣や品質の向上は、貢納布に対する厳しい検査などといもたらしたものだが、それが陰に多くの女性たちの辛苦があり、たことを、忘れることはいかない。

4. 「花織」について

現在花織には2種の技法がある。その1つは、白、赤、黄、緑の絹糸を用いて、幾何学的な文様を小さく点てて表現した可憐な趣をもった絣織物で、読谷山花織が代表的だ。

他の1つは、土糸または土色糸の一部を浮かせて、幾何学的な文様を織り出した浮織物で、首里花織がよく知られている。

首里の花織は、主に絹糸または綿糸を用いながら、これは、フリーグルーブの変化により文様を構成する浮織物であり、片面は絹糸でも、その裏は綿糸となり、両面どちらでも使える。リバーシブルにできる。絹糸の一部を段に浮かして、綿糸の輝きで「段文」を表した織物で、特にロートン(道山)と呼んでいた。この技法が「中國から琉球に伝えられたのは1659年のこととされているが、この織物の段は士族以上の人達だけに着用されてきた。

綿糸によるものと、綿糸によるものと2種あるが、綿糸の輝きは絹の方が勝っている。また、首里の花織と絹組織の紹を併用して、市松文様を表出した織物を「花倉織」というが、これは半縞りの絹を用いて、引張りのあま流しが「アマ織」の物で、かつては王家の人々しか着用できなかつたということもあり、大変上品な織物だ。

参照11

5. 首里織の種類

・首里花織

絹浮花織、絹浮花織、両面浮花織、手花織の四種類がある。士族以上の人々が着用していた。

・首里花倉織

沖縄の織物のうち、もっとも格式の高い織物で、王家の妃、王女が着用していた夏衣。

花織と組織、紗織を市松文様、又は菱形文様に織っている。

・首里道地織

平織地の中に部分的に糸の密度を濃くして織られるもので、両面使用できる。男物官衣として使用されていた。

・首里ミニサー

変化平織の1種で、縞糸を引きを入れて太く横の前人織と、両面浮花織を組み合わせた織物。「ミニ」は中国語で「綿」を表し、「サー」は「狭」と「窄」で、綿狭帶といふ小巾物の帶のことをいう。

・首里糸

「中小（ハバクナーエイ）」と呼ばれる首里独特の「手結」の手織法で、糸の原形とも言わゆる。

6. 琉球の織物（首里織以外の物）

— 紅型 —

紅型は琉球に花咲いた独特の美しい染め物である。紅型とは、糸糊を防錆に用いて、顔料や染料で色差し、せき染めをして文様を染めること。

型紙を用いる型染めと、糊筒による筒描き染めの2種類がある。

「紅型」は「ひんかいた」と発音する。古文書には、「黄赤青3色の紅を差し…」とあることから、紅(紅)色型は文様の意味であるとも言われている。起源には「はつきりしない」が、現在のような製作様式が確立したのは、琉球文化のさかだたた發展を始めた18世紀頃だといわれている。

一般に女性の着用品で、元服前の王族、士族の少年や王府に仕える小姓たちは、これを着用した。王府では中国より舶載した綿子を最高の礼服として用いてきたが、国賓を迎えるような場合、女性は紗紗

絲衣と呼ばれた紅型の打掛を着用したといふ。王妃は黄地雲竜大文様、王女や王子妃は黄地や、上級士族夫人はピンク地にとんでもれ模様を垂れた牡丹に鳳凰(ハゲウ)文様で、一般士族の女性は水色地に花鳥山水文様で、稍々打掛が着用された。このように、当時の女性の着衣は身分なりを表していた。

このように紅型の染め方や文様、配色などには、灰津染めなどとよく似たところがあるといい、亞熱帯の力強い日射しに負けぬよう、彩色に主として顔料(カレ)を使われ、またコントラストの強い配色をしている点、あるいは黄地色を上位に置いたり、雲竜や牡丹、鳳凰の文様を貴人の恵正に用いていた点などには、琉球の風土や、日中両属の歴史の証しからもうますます示されていく。

— 上布 —

上布は通常上質な麻織物を指しているが、琉球では上質というだけでなく、上納、貢納されたという意味も含まれている。宮古島の平良市荷川取の海岸には、今も人頭税石と呼ばれる1,438トントルの岩があり、これがかつて、身長がこの石の高さに匹敵し、人前の労働力を挡住、たとえとして、税を課せられたらしい。つまり、中学生ごろから税を收めねばならなかつたのだ。

薩摩の支配を受けて、貢租は一層厳しくものになり、1659年には先島の貢租は上布で代納するとか定められた。見事な技術によって上布の出現は、このような過酷な人頭税によつてもたらされたものだった。

宮古上布の明確な起源は不明だが、糸のかい糸の上布が「穂(ス)」のようになつたのは、そのかく貢納布となつてからだと言われている。

7. 質問したいこと。

- 現在、首里織の技術者と手草、た人は、何人ほどいるのか。
- 貢租を納めていたのは、実際には何歳くらいの女性だつたのか。
- 糸の图案は、「御絵図帖」以降、新しいものが生み出されたたりしていいのか。

(VI) 学校長来館

いよいよ聞き取り調査の日がきた。午前中にわざわざ学校長が挨拶にみえ、1999年校外学習のしおりを持参された。その巻頭言は次の様な素晴らしいあいさつ文がある。

沖縄のこころ

千葉県立国府台高校 学校長 山崎 哲彦

私は近頃、40年以上前の高校時代の修学旅行を懐かしく思い出す。蒸気機関車の牽く夜汽車に揺られて行った初めての遠出、見聞するもの全てが感動の連続であった。しかし、現在は手軽にどこへでも行けるし、メディアによって世界のできごとが瞬時に分かる時代である。今年の県下の公立高校では46%が航空機を利用、もはや集約専用列車は19%の高校が利用しているにすぎない。来年からは海外へも解禁になる。このように時代とともに修学旅行も大きく様変わりしてきた。

しかし、明治19年（1886）からはじまった世界でもあまり例をみないこの学校行事は、不要論も根強くあるものの、行事を精選しても廃止する学校はほとんどないであろう。本校ではかつての修学旅行のありかたを抜本的に見直し、今日のような事前準備を重視した校外学習形式になったものであり、その意義を充分ふまえて実践し実り多いものにしてほしいものである。

『沖縄のこころ』は前県知事大田昌秀氏の著書であるが、私たちはまさにこの沖縄のこころを理解するための校外学習でなければならぬ。大江健三郎氏はその著『沖縄ノート』の中で「日本が沖縄に属する」とまでいい、第二次世界大戦から今日までこの地の犠牲によって平和日本が成り立っている実状を報告し洞察している。また、沖縄は15世紀以降、中継貿易国家として隆盛を極めた琉球王国をはじめとして、独特の歴史と文化をもつ土地であり、柳田国男が『海上の道』で分析しているように、日本人および日本文化のルーツの主要なひとつでもある。このことの前提なくして沖縄のこころを理解することは到底不可能であるといつてもいい。私たちの「聞き取り調査」する態度も、そのことを充分わきまえておくべきである。

しかし、しりごみする必要は少しもない。沖縄は亜熱帯気候のため異国と見まがう程自然が美しくまばゆい。同様に、人々も温かく優しく人情味にあふれている。私たちはそこに礼をもって溶け込めばいいのだ。

自己の健康管理をしっかりと固め団体行動としての規律を守り、みんなで協力して思いでに残る楽しい安全な旅を祈らずにいられない。そして、沖縄のこころを少しでも深く理解し、大きな学習成果をあげることをこころから期待している。

(VII) きめ細かな調査項目

校外学習のしおりをめくると、各クラス6班に分かれそれぞれのテーマがある。8クラスあるので48のテーマとなる。調査場所も日時も違いスケジュールを組むだけでも大変な事である。しかし、これは他の学校の参考にすべくあえて紹介しよう。(参照12~15)

参照12

1組

1 班	班長 石橋 齋史				⑤ A F	
	調査1 蜂谷 奈々江	ルート 沖田 直樹	テーマ：沖縄の言葉			
	調査2 朝倉 岬	報告集 橋 龍平	28日 pm 沖縄言語文化研究所 098-887-2177 那覇市首里赤平町1-46 29日 am 沖縄市観光協会(沖縄市民小劇場あしびなーコーリングザ3F) 沖縄市中央2-28-1 098-934-8487			
	調査3 中谷 真実	会計 竹本 勝平	pm 球球大学・国際文化学科琉球方言学 中頭郡西原町字千原1番地 098-895-8285			
2 班	班長 藤岡 健太郎				① E	
	調査1 高橋 美智子	ルート 本田 雄史	テーマ：沖縄の歴史的建造物			
	調査2 山本 裕子	報告集 井上 友人	28日 pm 中村家 098-915-3500 北中城村字大城106 29日 am 首里城公園 098-886-2020 那覇市首里当蔵町3-1 pm 県立博物館 098-884-2243 那覇市首里大中町1-1			
3 班	班長 深井 香穂				⑧ C	
	会計・調査1 根津 明日香	ルート・調査2 松尾 崇史	テーマ：沖縄の楽器			
	ルート・調査2 及川 大輔	報告集 岡部 翔	28日 pm 琉球楽器またよし 098-861-3484 那覇市安里67 29日 am 松田三味線店 098-868-7767 那覇市辻2-2-17 pm ちんだみ工芸 098-869-2055 那覇市牧志1-2-18			
4 班	班長 小熊 渉				③ C	
	調査1 上田 貴知子	ルート 笠原 潤	テーマ：レジャーについて			
	調査2 阿部 真紀子	報告集 遠藤 絵美	28日 pm 知念海洋レジャーセンター 098-948-3355 知念村字久手堅676 29日 am 那覇マリーナ 098-866-0919 那覇市港町4-5-1 pm わしたショップ本店 098-864-0555 那覇市久茂地3-2-22			
5 班	班長 蔡崎 尚弘				④ H	
	調査1 高松 あずさ	ルート 松原 彰吾	テーマ：サンゴショウ			
	調査2 加藤 良子	報告集 森永 由布美	28日 pm さんごセンター 098-868-3583 那覇市西2-4-17 29日 am 那覇マリーナ 098-866-0919 那覇市港町4-5-1 pm 真栄田岬 読谷村			
6 班	班長 小松 千晴				⑧ G	
	調査1 石井 俊太	ルート・会計 漢本 依子	テーマ：沖縄の料理			
	調査2 小林 直樹	報告集 高橋 奈美	28日 pm 牧志公設市場 098-861-3732 那覇市松尾2-10-1 29日 am レストラン王国村 098-949-1334 大城村字前川1336 pm 首里そば 098-884-0556 那覇市首里赤田1-7			

2組

1 班	班長 下村 韶				⑥ B J	
	調査1 三代川 俊介	ルート・報告集 大屋 りえ	テーマ：沖縄の植物			
	調査2 高野 唯史	ルート・報告集 望月 ゆかり	28日 pm 東南植物楽園 098-939-2555 沖縄市知花2146 29日 am やんばる亜熱帯園 0980-53-0007 名護市中山1024-1 pm ビオスの丘 098-965-3400 石川市嘉手丸961-30			
2 班	班長 塩路 佳子				⑦ K	
	調査1 藤田 裕之	ルート 野呂 幸世	テーマ：闘牛			
	調査2 山田 環	報告集 中村 韶	28日 pm 沖縄タイムス 098-860-3557 那覇市久茂地2-2-2 29日 am 沖縄横綱牛 佐久原好助氏宅 098-897-7036 宜野湾市真栄原1-11-9 pm 愛牛家・登川氏宅 098-965-1737 石川市字嘉手丸142			
3 班	班長 市原 智子	会計 田村 翔自				
4 班	班長 河崎 真希子				② B K	
	調査1 大塚 宏志	ルート・会計 栗賀 明香	テーマ：沖縄の魚			
	調査2 米川 瑛平	報告集 手嶋 雄太	28日 pm 牧志公設市場 098-803-6186 那覇市松尾2-10-1 29日 am 本部漁協組合 0980-47-2500 本部町字茶谷28 pm 国営沖縄記念公園 0980-48-2743 本部町字石川424			
5 班	班長 青木 朝枝				⑥ B K	
	調査1 小形 悠介	ルート 畠山 友敬	テーマ：海洋生物			
	調査2 木村 太郎	報告集 岩田 明子	28日 pm 環境教育横井氏(残波岬ロイヤルホテル) 読谷村字宇座1575 29日 am 国営沖縄記念公園 0980-48-2743 本部町字石川424 pm 国営沖縄記念公園 0980-48-2743 本部町字石川424			
6 班	班長 斎木 朋子				① E	
	調査1 桑原 麻衣子	ルート・会計 池澤 弦	テーマ：首里織			
	調査2 栗原 一樹	ルート ピーク・M・ソルト	28日 pm 大城織物工場 098-889-4581 烏房郡南風原町喜屋武6番地 29日 am 那覇市伝統工芸館 098-858-6655 那覇市當間1-1 pm 那覇伝統織物事業協同組合 098-887-2746 那覇市首里桃原町2-64			
	調査3 大地 香奈子	報告集 湯浅 晓生				
	班長 泰 誠志				② H	
	調査1 大原 理絵	ルート 太田 健一	テーマ：沖縄特有のだがし			
	調査2 延原 直香	報告集 荒牧 拓	28日 pm 末廣製菓本店工場 098-863-5630 那覇市松尾2-7-20 29日 am おきなわ屋・国際通り店 098-868-5252 那覇市松尾2-8-5 pm 黒糖工場 098-958-4005 読谷村字座喜味			
	調査3 黒木 まや	会計 山下 智嗣				

参照13

3組

1班	班長 柳下 夏穂 調査1 岡井 裕介 調査2 鴻野 裕未 調査3 西塙 理恵	ルート 井上 牧恵 報告集 皆川 哲也 会計 松本 英朗	テーマ：伝統工芸・織物 28日 pm 沖縄県立博物館 098-884-2243 那覇市首里大中町1-1 29日 am 里工芸館・那覇伝統織物事業協同組合 098-887-2764 那覇市首里桃原町2-64 pm 跳谷村伝統工芸総合センター 098-958-4674 跳谷村字座喜味2974-2	(2) H
	班長 本郷 新 調査1 船橋 崇宏 調査2 小早川 裕介 調査3 弓場 智喜	ルート 細瀬 恵 報告集 安居 智恵子 会計 庄田 明日香	テーマ：沖縄の音楽 28日 pm 金城三味線製作所 098-868-1525 那覇市松山1-19-19 29日 am 沖縄コンベンションセンター 098-898-3000 宜野湾市真志喜4-3-1 pm 沖縄県立芸術大学 098-831-5000 那覇市首里当蔵町1-4	
	班長 伊藤 康二朗 調査1 高崎 由紀子 ルート調査2 堀内 亜矢子 調査3 田代 美亜	報告集 木村 健太 会計 貝瀬 雄太	テーマ：沖縄の海(サンゴ以外) 28日 pm 牧志公設市場 098-803-6186 那覇市松尾2-10-1 29日 am 国営冲縄記念公園 0980-48-2743 本部町字石川1424 pm いんぶーピー 098-967-8222 恩納村字名嘉真2173	
	班長 平澤 佳明 調査1 今川 美奈 調査2 高田 幸子	ルート 高橋 隆寛 報告集 福島 弘二	テーマ：豚について 28日 pm 牧志公設市場 098-803-6186 那覇市松尾2-10-1 29日 am 料理研究家・喜屋武マサ 098-878-5179(喜屋武宅) ホテルサンバレスにて	
4班	班長 笠松 哲光 調査1 佐藤 黃弘 調査2 渡辺 倫子 調査3 櫻井 梨乃	会計 大橋 純子	pm 沖縄市立郷土博物館 098-932-6882 沖縄市上地235-3	J
	班長 佐藤 黃弘 調査1 平田 彩子 調査2 渡辺 倫子 調査3 櫻井 梨乃	ルート 福島 直哉 報告集 小倉 煥 会計 青沼 麻由	テーマ：シーサー 28日 pm 玉泉洞王国村 098-949-7421 玉城村字前川1336 29日 am 波上宮(神社) 098-868-3697 那覇市若狭1-25-11 pm 興南高校(長嶺操先生) 098-884-3292 (高校) 那覇市字古島160 (高校)	(3) G
	班長 平山 友曉 調査1 鈴木 翔 調査2 吉本 亜紀子 調査3 主山 直美	ルート 中川 岳人 会計 報告集 早坂 藤乃	テーマ：三叉路に棲まる魔物たち～石敢當～ 28日 pm 沖縄県立博物館 098-884-2243 那覇市首里大中町1-1 29日 am 那覇市内(ひめゆり通り方面) pm 那覇市内(ひめゆり通り方面)	(2) C

4組

1班	班長 近藤 ゆず 調査1 倉田 博之 調査2 島川 悠太 調査3 橋 宏幸	ルート 風間 千明 報告集 長山 愛 会計 篠田 覧大	テーマ：泡盛 28日 pm (資)比嘉酒造泡盛まさひろギャラリー 098-994-8080 糸満市西崎町5-8-7 29日 am 泡盛館 098-885-5681 那覇市首里寒川町1-81 pm 瑞泉酒造 098-884-1968 那覇市首里崎山1-35	(4) E
	班長 加地 淳平 調査1 吉田 まゆみ 調査2 山本 深雪 調査3 田代 祥一	ルート 田村 健 報告集 鹿俣 清華 会計 龍谷 公精	テーマ：紅型 28日 pm 喜友名琉球紅型工房 098-884-7181 那覇市首里金城町1-54 29日 am 那覇市伝統工芸館 098-858-6655 那覇市字当間1-1 pm 県立博物館 098-884-2243 那覇市首里大中町1-1	
	班長 小林 一美 調査1 田口 麻樹 調査2 山岸 天平 調査3 片瀬 陽平	ルート 大石 清香 報告集 今井 希 会計 川井 雅史	テーマ：紅型 28日 pm 那覇市伝統工芸館 098-858-6655 那覇市字当間1-1 29日 am 喜友名琉球紅型工房 098-884-7181 那覇市首里金城町1-54 pm 那覇市ショッピングセンター 098-862-7474 那覇市西2-4-17	
	班長 黒瀬 零 調査1 小野 紗子 調査2 松井 雅広 調査3 尾崎 美輪	ルート 雲藤 直美 報告集 岡崎 佐和子 会計 大澤 一寿	テーマ：べにいも 28日 pm ユンタンザ 098-958-1391 中頭郡読谷村字波平1070-1 29日 am 読谷村役場 098-982-9215 中頭郡読谷村字波平37 pm お菓子のボルシェ 098-956-3335 中頭郡読谷村大木459-7	
5班	班長 真鍋 高野 調査1 大久保 秀一 調査2 藤目 英美 報告集 調査3 藤野 真梨	ルート 古瀬 敏展 会計 調査3 壱井 直子	テーマ：サンゴと海の生物の関わり 28日 pm サンゴセンター(珊瑚教室) 098-868-3583 那覇市西2-3-12 29日 am 国営冲縄記念公園 0980-48-2743 本部町字石川1424 pm いんぶーピー 098-967-8222 恩納村字名嘉真2173	(4) B K
	班長 北本 篤史 調査1 郡司 木綿子 調査2 渋谷 俊輔 調査3 吉田 幸恵	ルート 石原 久美 会計 報告集 久保内 肇	テーマ：そばを極める 28日 pm 牧志第一公設市場 098-867-6560 那覇市松尾2-10-1 29日 am 御殿山 098-885-5498 那覇市首里石嶺町1-121-2 pm 沖縄市立郷土博物館 098-932-6882 沖縄市上地235-3	

参考14

5組

1 班	班長 手塚 達也			テーマ : 沖縄の屋食における栄養学的な生活様式による関連を調べる
	調査1 中村 純平	ルート 国常 圭	28日 pm 沖縄調理師専門学校 098-861-7100 那覇市久米1-18-7	
	調査2 原 健策	報告集 河合 宏子	29日 am 渔港 : 渔協(糸満商工会) 098-992-2816 糸満市字糸満625	
	調査3 増井 美帆	会計 梅津 祐子	pm 沖縄県庁(長寿社会対策室) 098-866-2214 那覇市泉崎1-2-2	
2 班	班長 遠藤 勇太		テーマ : 沖縄の山羊料理	
	調査1 大岩 敦	ルート 井戸 智佳子	28日 pm 牧志公設市場 098-867-6560 那覇市松尾2-10-1	
	会計・調査2 松坂 麻美	報告集 齊藤 祐嗣	29日 am 山海 098-863-5199 那覇市東町19-12	
	調査3 佐藤 麻衣子		pm 世名畜産 098-998-8013 東風平町世名城620-2	
3 班	班長 小城 和歌子		テーマ : 食文化と健康	
	調査1 富川 莉奈	ルート 飯塚 徹	28日 pm 沖縄キリスト教短大・友利知子 098-885-3589 那覇市大道35-5	
	調査2 宮館 莉沙	報告集 座間 富美彦	29日 am ふみや 098-868-3309 那覇市前島3-17-9	
	調査3 堀越 真理子	会計 下保 貴志	pm 那覇市牧志第一公設市場(市役所) 098-862-6560 那覇市松尾2-10-1	
4 班	班長 谷岸 示現		テーマ : 沖縄の動物	
	調査1 河内 辰也	ルート 丸山 亜由美	28日 pm 沖縄県立博物館 098-884-2243 那覇市首里大中町1-1	
	調査2 栗林 雅人	報告集 佐々木 亮太	29日 am 子供の国 098-933-4190 沖縄市胡屋5-7-1	
	調査3 荒間 亜希子	会計 阿部 友美	pm 沖縄動物愛護センター 098-945-3043 大里村大里2000	
5 班	班長 杉浦 清信		テーマ : 琉球ガラス	
	調査1 松本 香織	ルート 林 弘樹	28日 pm 琉球エッチング夢工房 098-885-7773 那覇市松川3-17-1-B-1F	
	会計・調査2 中野 良美	報告集 小林 学	29日 am 琉球共栄ガラス工房 098-965-3090 国頭郡恩納村字富着85	
	調査3 高柳 万里		pm 宙吹ガラス工房 虹 098-958-6448 中頭郡読谷村座喜味2748	
6 班	班長 若菜 真理子		テーマ : アセロラ	
	調査1 菊川 和哉	ルート 佐藤 愛美	28日 pm 沖縄県農林水産部園芸振興課 098-866-2266 那覇市泉崎1-2-2	
	調査2 濱屋 圭	報告集 根本 知香	29日 am アセローラフレッシュ 0980-47-2505	
	調査3 布施 裕司	会計 中村 わか菜	pm 国頭郡本部町字並里517セローラフレッシュ グリーンホテル 0980-48-3211 国頭郡本部町字古島404	

6組

1 班	班長 櫻井 伸幸		テーマ : 沖縄のお菓子を味わおう
	調査1 北條 茜	ルート 福井 隆一	28日 pm 沖縄県黒砂糖工業会 098-862-6140 那覇市久茂地3-20-5
	調査2 佐藤 あい子	報告集 金子 由香理	29日 am 未廣製菓 098-863-5630 那覇市松尾2-7-20
	調査3 森 健	会計 尾坂 一會	pm 沖縄有成堂 098-893-8680 宜野湾市長田320
2 班	班長 長野 翔伍		テーマ : さとうきび
	調査1 川野 篤史	ルート 川原 奈々美	28日 pm 日本分蜜糖工業会 098-869-0417 那覇市奥久茂地2-9-1
	調査2 山本 哲也	報告集 高岡 麻梨亞	29日 am 沖縄県農林水産部糖業農産課 098-866-2275 那覇市泉崎1-2-2
	調査3 桑子 由樹	会計 飯川 貴子	pm JAやいな農協読谷支所経済課 098-958-4106 読谷村字波平1696
3 班	班長 台場 久美子		テーマ : バイナップル
	調査1 田代 一之	ルート 報告集 斎崎 広大	28日 pm 沖縄中央卸売市場 098-868-2060 浦添市勢理客555-27
	調査2 新橋 英里子	会計 澤柳 奈津子	29日 am JAやんばる・營農販売部特産課 0980-54-0015 名護市伊差川327-1
	調査3 近藤 慎也		pm ナゴバイナップルパーク 0980-53-3659 名護市為又1195
4 班	班長 佐藤 純子		テーマ : 沖縄でよくとれる魚図鑑
	調査1 三上 喬之	ルート 吉田 徹	28日 pm 那覇市沿岸漁業組合 098-861-2707 那覇市港町3-1-17
	調査2 米山 創一郎	報告集 長谷川 陽子	29日 am 寄宮フィッシングセンター 098-832-7149 那覇市寄宮3-19-11
	調査3 鈴木 一誠	会計 渡部 奈己	pm 松本料理学院 098-861-0763 那覇市泉崎1-9-13
5 班	班長 高田 学		テーマ : 沖縄の民家について
	調査1 石川 友香	報告集 石井 麻美	28日 pm 琉球村 098-965-1234 恩納村山田1130
	調査2 野口 展正	会計 渡辺 真也	29日 am 中村家 098-935-3500 北中城村大城106
	ルート調査3 西崎 奈保		pm 読谷村立歴史民俗資料館 098-958-3141 読谷村座喜味708-6
6 班	班長 川島 直		テーマ : 琉球ガラスについて
	調査1 河口 真理子	ルート 中野 知徳	28日 pm 那覇市伝統工芸館 098-858-6655 那覇市字当間1-1
	調査2 佐藤 彩	報告集 岡部 凉	29日 am 沖縄工芸村 098-966-2859 国頭郡恩納村字恩納6208
	調査3 渡邊 千尋	会計 能登谷 彰恒	pm 共栄ガラス工房 098-965-3090 国頭郡恩納村字富着85

参照15

7組

⑦ F ⑧ G ⑨ F ⑩ A G ⑪ A H ⑫ B	1班	班長 桑田 英俊		テーマ：豚料理(長寿について)	③ F
		調査1 大山 知春	ルート 黒崎 夕介	28日 pm 総合給食 098-948-7034 知念村字久手堅275-1	
		調査2 三谷 麗	報告集 牧野 訓久	29日 am 上原ミート 098-863-6186 那霸市松尾2-10-1	
⑦ F ⑧ G ⑨ F ⑩ A G ⑪ A H ⑫ B	2班	調査3 藤間 典子	会計 林 篤宏	pm 九市ミート(牧志公設市場) 098-861-4294 那霸市松尾2-10-1	
		班長 鈴木 正泰		テーマ：ゴーヤーについて	
		調査1 茂木 隆明	ルート 酒井 梨紗	28日 pm jef与那原店 098-945-3501 烏尻郡上与那原町字与那原467	
⑦ F ⑧ G ⑨ F ⑩ A G ⑪ A H ⑫ B	3班	調査2 山岸 ゆり	報告集 水越 浩人	29日 am 牧志第一公設市場 098-826-8452 那霸市松尾2-10-1	
		調査3 竹本 麻衣子	会計 平塚 聖香	pm ゴーヤーパーク 0980-54-1158 名護市字中山894-9	
		班長 守田 貢輔		テーマ：琉球音楽	
⑦ F ⑧ G ⑨ F ⑩ A G ⑪ A H ⑫ B	4班	調査1 久保田 晴子	ルート 二口 徹也	28日 pm 沖縄市立郷土博物館 098-932-6882 沖縄市上地235-3	⑥ J
		会計2 清水 香理	報告集 佐野 遼太郎	29日 am 沖縄県ロック協会 098-932-1638 沖縄市諸見里1320-B-4	
		調査3 水口 万里子		pm 沖縄県立芸術大学 098-831-5000 那霸市首里当蔵町1-4	
⑦ F ⑧ G ⑨ F ⑩ A G ⑪ A H ⑫ B	5班	班長 神 健太郎		テーマ：そば	⑤ D
		調査1 村山 真樹子	ルート 宮川 純一	28日 pm 信ちゃんそば 098-998-5932 東風平町字東風平1418-2	
		調査2 塩崎 由布子	報告集 齊藤 玲子	29日 am 沖縄製粉 098-868-3141 那霸市通堂町1-1	
⑦ F ⑧ G ⑨ F ⑩ A G ⑪ A H ⑫ B	6班	調査3 菅原 紫織	会計 桜井 伸一	pm 沖縄製粉 那霸市通堂町1-1	
		班長 丸茂 妙子		テーマ：沖縄の動物	① A J
		調査1 牧野 珠比太	ルート 金井 星也	28日 pm 球大学(熱帯生物圏研究センター) 098-895-8036 中頭郡西原町字千原1番地	
⑦ F ⑧ G ⑨ F ⑩ A G ⑪ A H ⑫ B	7班	調査2 岩瀬 純子	報告集 川原 朋	29日 am 野鳥の森自然公園 098-974-3111 具志川市みどり町1-1-1	
		調査3 倉地 昇	会計 大石 卓央	pm 沖縄こどもの国 098-933-4190 沖縄市胡屋5-7-1	
		班長 石部 卓		テーマ：泡盛	
⑦ F ⑧ G ⑨ F ⑩ A G ⑪ A H ⑫ B	8班	調査1 雨海 将樹	ルート 渡邊 沙織	28日 pm 南都酒造所 098-949-7421 烏尻郡玉城村字前川1367	③ E
		調査2 湯田 紗子	調査2・報告集 中嶋 理紗	29日 am 酒造連合 098-885-2178 那霸市港町2-8-8	
		調査3 山口 実穂	調査1・会計 山田 崇史	pm 瑞泉酒造 098-884-1968 那霸市崎山町1-35	

8組

⑦ G ⑧ J ⑨ B K ⑩ D ⑪ H ⑫ A J	1班	班長 橋本 勉		テーマ：鍾乳洞	③ F
		調査1 渡邊 清嵩	ルート 皆川 奈津子	28日 pm 玉泉洞王国村 098-949-7421 烏尻郡玉城村字前川1366	
		調査2 坪野 優紀	報告集 村山 千尋	29日 am さんごセンター 098-868-3583 那霸市西2-3-12	
⑦ G ⑧ J ⑨ B K ⑩ D ⑪ H ⑫ A J	2班	調査3 長谷部 渉	会計 並木 一仁	pm 球大学 098-895-8566 中頭郡西原町字千原1番地	
		班長 千葉 曜		テーマ：陶器	⑤ D
		調査1 及川 純一	ルート 大森 美緒	28日 pm 那霸市立壺屋焼物博物館 098-862-3761 那霸市壺屋1-9-32	
⑦ G ⑧ J ⑨ B K ⑩ D ⑪ H ⑫ A J	3班	調査2 石井 大輔	報告集 大崎 実	29日 am 那霸市伝統工芸館 098-858-6655 那霸市字當間1-1	
		調査3 織戸 淳	会計 飯塚 みさ	pm 壺屋陶器事業協同組合 098-866-3284 那霸市壺屋1-21-14	
		班長 二階堂 智美		テーマ：沖縄の植物・花	
⑦ G ⑧ J ⑨ B K ⑩ D ⑪ H ⑫ A J	4班	調査1 竹内 司	ルート 小野崎 容子	28日 pm 豊見城跡公園 098-850-0031 豊見城村字豊見城863	⑧ A K
		調査2 佐藤 寛史	報告集 濑楽 夏希	29日 am ナゴパラダイス 0980-52-6262 名護市幸喜1774	
		調査3 山内 正彦	会計 高貝 亞希子	pm 沖縄フルーツランド 0980-52-1568 名護市為又1220-71	
⑦ G ⑧ J ⑨ B K ⑩ D ⑪ H ⑫ A J	5班	班長 原子 紀康		テーマ：豆腐	③ C
		調査1 小川 見弘	ルート 楠崎 桂子	28日 pm なかむら食品 098-948-2228 知念村志喜屋574	
		調査2 花岡 恵子	報告集 下道 彩	29日 am 松本料理学院 098-863-0763 那霸市泉崎1-9-13	
⑦ G ⑧ J ⑨ B K ⑩ D ⑪ H ⑫ A J	6班	調査3 金子 あぐり	会計 河島 創	pm ひろし屋食品(株) 098-861-0421 那霸市安附617-49	
		班長 小林 崇志		テーマ：海と観光	③ C
		調査1 青木 優美	ルート 伊藤 温海	28日 pm 知念海洋レジャーセンター 098-948-3355 知念村字久手堅676	
⑦ G ⑧ J ⑨ B K ⑩ D ⑪ H ⑫ A J	7班	調査2 長谷川 麻衣	会計・報告集 賀茂 俊皓	29日 am ひめゆりパーク 098-997-3111 糸満市真栄平1300	
		調査3 山本 恵梨子		pm 首里城公園管理センター 098-886-2020 那霸市首里金城町1-2	
		班長 渡部 清美		テーマ：沖縄の染め物	
⑦ G ⑧ J ⑨ B K ⑩ D ⑪ H ⑫ A J	8班	調査1 大谷 知寛	会計 ルート 浦野 鉄平	28日 pm 球紅型事業協同組合(那霸市伝統工芸館) 098-857-4149 那霸市字当間1-1	④ G
		調査2 浜本 るり	報告集 多湖 克彦	29日 am 首里琉染工房 098-886-1131 那霸市首里山川町1-54	
		調査3 太田和はるか		pm 球の館(紅型教室) 098-992-1000 糸満市西崎町5-11-2	

(VII) 調査隊受け入1日目 (10月28日 木曜日)

国府台高校の生徒は約束の時間より30分も早く来館した。学芸員も1時から準備して待っていたので、すぐ対応できた。秋陽のさしこむロビーにテーブルを並べた臨時の学習室である。担当は「石巖当」を神谷厚昭学芸員、「沖縄の動物」を与那城義春学芸員、「沖縄の伝統織物」は私、伊波である。

私の担当した「織物」班は男生徒3人、女性徒4人で落ち着いた感じの仲良しグループである。まず、なぜこのテーマを選んだのか聞いた。

- * 沖縄の本を見て色鮮やかな織物が目についた
- * 紋のイメージがとてもつよかった
- * 織物の種類が多い
- * 花蔵織がすばらしい
- * 昔の人は芭蕉布を着ていた
- * 人頭税などで苦しめられたいた

と返事がきた。しっかり下調べはやってあるようだ。私は一つ一つに解説を加えた。原材料について、王朝文化について、貢納布について、織物の種類がなぜ多いのかなど。そして、私の手織の首里花織の着尺、ロートン織りの帯、服地などを見せた。实物に触ることが出来たので生徒達は感激してみんなで記念撮影をした(写真1)。学習風景は(写真2, 3, 4,)のようである。

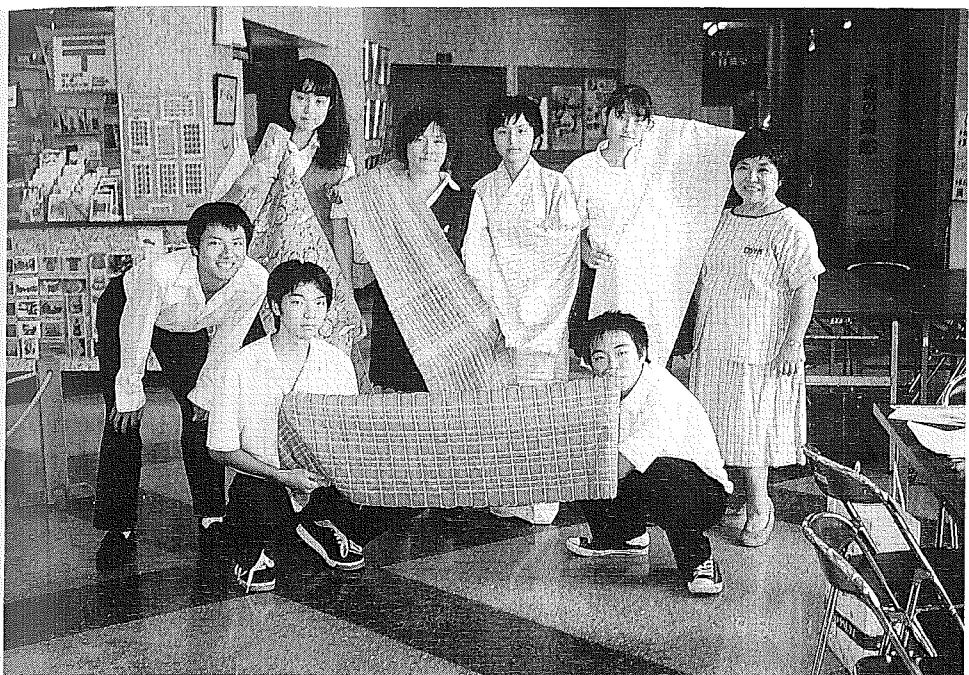
聞き取り調査がすんで館内の展示物を見るにすることにする。折しも企画展「日本の技～伝統のかたち～」という第七回重要無形文化財保持団体の秀作展示会をしていた。そこには宮古上布、喜如嘉の芭蕉布、久留米絣、結城紬の素晴らしい織物が展示されていた。参考になったことであろう。

(IX) 調査隊受け入れ2日目 (10月29日 金)

2日目は「紅型」と「歴史的建造物」で担当は与那嶺一子学芸員と太田健一学芸員、多良間利絵子学芸員が担当した。場所は博物館講堂で対応したが、学習室ではないので少々暗く不便である。

(X) 聞き取り調査を終えて

半年間学校と博物館が連絡調整をしながら一つの事業を終えた。2時間という限られた時間で充分だっただろうか。私の担当の「織物」は適当であった。他の学芸員の感想ではテーマが学校から示され、その中から選んだもので、「自分は他のテーマをやりたかった」ともらした生徒もいたという。320人の中にはこういう事も2, 3起こり得るだろ。



(写真1) 沖縄の織物を手に（沖縄県立博物館ロビー）



(写真2) 聞き取り調査の様子（沖縄県立博物館ロビー）



(写真3) 真剣な聞き取り調査（沖縄県立博物館ロビー）



(写真4) 民族室見学の様子（沖縄県立博物館民族室一）

(XI) お 礼

11月9日学校長、2学年主任と各班の生徒より各担当の学芸員に丁寧なお礼状がとどいた。お礼と共に、沖縄の青い空や海、なじみのない虫、色とりどりの大きい花も新鮮だったと感想を述べている（参照16～18）。早く校外学習報告書を見たいものである。

(XII) 今後の課題

沖縄を取り上げて学習する事は素晴らしいことで、歴史の教科書に載っていない部分を埋める事が出来るし、第二次世界大戦の唯一住民を巻き込んだ地上戦の島を高校生の目で、足で確かめる事は大切だと思う。大きなテーマでなくても、じっくり学習して欲しい。そしてリピーターとして訪れて欲しいのである。

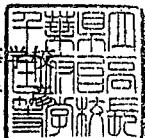
参照16

（参照16）

平成 11 年 11 月 9 日

県立博物館 様

千葉県立国府台高等学校
校長 山崎哲



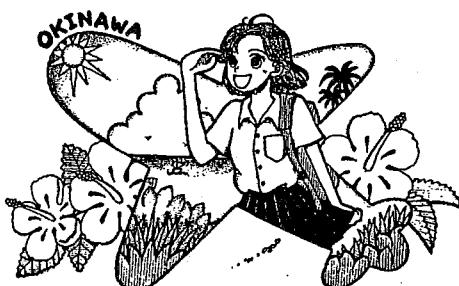
修学旅行（生徒の聞き取り調査）についてのお礼

暮秋の候、益々ご清祥のこととおよろこび申し上げます。

さて、過日実施いたしました本校生徒による調査・研究に際しましては、ご協力、ご指導を賜り、誠に有り難うございました。この体験から、生徒は、学習を深め、貴重な思い出を残したことと思います。

また、礼儀作法、応対の仕方など事前に指導をしましたが、高校生のことで、ご無礼の段がございましたら、ご寛恕の程お願ひいたします。

取り急ぎお礼を申し上げます。



校 外 学 習 沖 縄

1999年10月27日(水)～30日(土)

参照17

拝啓

先日は、本校校外学習での生徒達の聞き取り調査に際し、懇切丁寧な案内をしてくださいり、大変有り難うございました。また、お忙しい中、生徒達のために時間を割いてくださり、感謝申し上げます。

生徒達はそれぞれのテーマについて、貴重な学習体験ができました。また、親切にご教示いただいたことに感激していました。

現在生徒達は、班別調査研究等のまとめに取り組んでいるところです。来春までには報告集が完成する予定ですが、できあがりましたらお送りします。

伊波さんには、特に聞き取り調査全体の連絡調整をしていただき、大変お世話になりました。感謝しております。

それぞれの学芸員の方に、くれぐれも宜しくお伝えください。

健康に留意され、ますます活躍されますようお祈り申し上げます。

敬具

1999年11月10日

沖縄県立博物館

伊波悦子様

千葉県立国府台高等学校

2学年主任 萩倉 良

参照18

伊波 悅子 様

拝啓

ニカラ千葉イハ、北から響きが訪ねて來、朝は咲く花が百々なりつゝ
ある今日二日ニテアリ。

昨日は、私の方の調査に付し、お忙しい中ご協力いただきまし

本当にありかへうニシテ、お忙ちの便り御用意の千葉は
陸奥が浅く伝統工芸に觸れる機会がござつた。展示の
ものには佐く、生イ見たり、振ふるせやいた御事、ヒヤモ感動
レインます。私たちにレーベ、最初、訪問した。イ、

緊張してまいり、戸惑いもあつたのが、丁寧にニ説明
して下さり、次の後の調査もより深くものになりました。

また、質問事項にお答えいたり、資料も用意していただき、
到着一同、大変恐縮しいあります。

沖縄は、空を青く、海をとくもきれいイ、私の方とはないけん
花の虫や、色とりどりの大きの花も新鮮イでした。また、お、あと、
首里城にも足を運んだの、イカ、トイも美しく、織物ナリ
中国から伝わ。いたのと同様に、中国の太城を見た。三
様でした。私の方にレーベ、沖縄訪問は、伝統に觸れる
ことかいたり、沖縄の暗い過去、そして現在を語る方
よ、木綿会になります。

いたたたニ、厚意を賜ふたは、よう、今回学んだことを
記録にまとめて役立つたと思つてます。

これから、気候が変わろと思いますが、お体に
気をつけ、ますますニ活躍くださいますよう、

到着一同、お祈りいたしております。このたんづは、

本当にありかへうニシテ、まつた。

敬具

千葉県立國府台高校 2年3組 | 班 代表 柳下 賀穂

5 さいごに

前述の県外高校生受け入れ（国府台高校の班別学習への対応）の実践に見るようすに、博物館活動と教育普及活動とは今や切り離して考えることは出来ない。

その他にも、11月18日名古屋大学教育学部附属高等学校の「古琉球の歴史」の解説、12月19日の神奈川県立総合高校の民俗に関する講座などうけいれた。何れも班単位のフィールドワークによるものであった。

昭和26年博物館法ができ、昭和48年に望ましい基準として見直しがなされ現在に至っている。行革、地方分権が唱えられて久しくなるが、博物館法に関しては依然として変わらず、この現法規も博物館の激動期にあって社会情勢に合っているか見直しが必要となっている。文部省は新しい博物館の望ましい基準を作るよう48年度版の現法規の見直しを打ち出した。社会教育審議会の中で ①博物館 ②図書館 ③公民館 の検討委員会が発足されている。そのため平成10年から12年にかけて、欧州、アメリカ、アジアへの調査が行われている。マルチメディアの発達する今日、情報を如何に駆使するか。そのためには20代、30代の若い人も委員に加えての検討が必要だとされている。

その検討の中でこれから博物館は教育普及活動が大きな役割を担うことになると思われる。（検討委員長：茨城県自然博物館長 中川志郎 の講演「博物館ボランティアの可能性と課題」より）その教育普及をきめ細かく行うために、ボランティアの応援が必要になってくる。

沖縄県立博物館も新館建設に向け、展示、保存、研究の活動に加えて、さらに教育普及も活動しているのである。

謝 意

本報告をまとめるにあたり、資料提供に協力していただいた千葉県立国府台高等学校校長 山崎哲彦氏、2学年主任 萩倉良先生に感謝申し上げます。また2学年担任の先生方、2学年の生徒の皆様には、事前レポートから細かい修学旅行のしおりを提供していただき、心より感謝申し上げます。

参考文献

沖縄県立博物館50年史	沖縄県立博物館
沖縄県立博物館年報（1971年～1999年）	沖縄県立博物館
第3回全国博物館ボランティア協議会基調講演	国立科学博物館
《開かれた学校》研究報告書	那覇市立城西小学校
校外学習～事前レポート集	千葉県立国府台高等学校
校外学習～沖縄～	千葉県立国府台高等学校